

げんきたっ子



目標にむかって

校長 市川 伸美

夏休みに取り組んだ宝物は、どれも心がこもっていて、見ごたえのあるものでした。時間をかけて作成したことが分かる折り紙や手芸、家族が使いやすいよう工夫した作品、何日も観察を続けた研究など、それぞれが目標や願いをもって取り組んだことが分かりました。そして、その目標や願いをもち続け努力する過程で、得るものが大きかったことと想像します。



夏休み宝物展

5年生は、9月14, 15日と根の上高原で宿泊研修を行いました。飯地小学校、中野方小学校と合同の研修です。三校共有のスローガンは、「いつでも、どこでも、だれとでも、積極的に助け合い、仲を深めよう」でした。恵那北小学校の5年生は、研修を成功させるために、「積極的に助け合う」ことを目標にして、「全員にあいさつをする」「1日1回は呼びかけをする」など、5つの約束を決め、2学期に入ってすぐにキャンペーンを始めました。そして毎日振り返りをし、自分を高め、仲間と協力する力を高めてきました。しかし毎日5つの約束が達成されたわけではありません。“×”となる日も

ありました。それでも毎日リーダーを中心にみんなで励まし合いながら、意識を高めて努力し続けました。そして、積極的に助け合う力をつけてきました。

宿泊研修の2日間、全員がこれまでつけてきた力に自信をもち、自分たちの力で大成功を収めました。

みんなで一つの目標に向かって取り組むということは、自分や仲間への厳しさも必要です。だからこそ、成功した喜びは大きいものです。



グループの仲間を見守り積極的に関わる子供たち

10月14日(土)は運動会です。全校の一人ひとりが目標をもち、取り組みます。

練習の中ではたくさんの努力と、仲間と取り組む楽しみが生まれることでしょう。大きく成長するチャンスです。私たち大人の役割は、当日だけでなく、努力する過程を認め励ましていくことだと考えます。保護者の皆様には、これまで以上に健康管理に留意していただくことになるかと思いますが、毎日の応援をよろしくお願ひします。そして、それまで努力を続け、つけてきた力を出し切る子供たちを地域の皆様にも応援していただけたら幸いです。